学生近況報告

6年次の近況報告

毛利康一（6年次）

あえて悲しいことは書きたくありませんでした。この5年間で少し歳をとった僕は最近涙腺がゆるんできたようなのです。だから、AKB48の総選挙のことでも書こうかなと思っていたのですが‥‥「康一、それでは駄目だ！！」という心の叫びが聞こえてきたのです、今は深夜2時。キーボードを打ちながらしみじみ思うのは、この3か月、自分はただただ悲しむばかり問題から目を背けていたのではないのかと。

今回の東日本大震災では、「災害弱者」という言葉が注目されました。病人、高齢者、障害者など、危険が差し迫った時でも適切な行動をとることが困難な人たちのことを言います。実際に犠牲になった方の大多数が高齢者だったと聞きます。最近のテレビでは、震災の時の美談ばかりがクローズアップされていますが、問題の本質はこういった災害弱者を十分に救済することができなかった社会をこれからいかに変えていくかにあると思うのです。

と、カッコいいことを言ってもそんな簡単に社会は変えられません。「社会」という言葉を使うと第三者的なとらえ方になってしまうからです。でも、災害弱者を放置するような社会を作ってしまったことは我々にも責任があると同時に、将来の社会構造に対する責任もあることは間違いないのです。

医学科同窓会の皆さん、そして学生の皆さん。私たちが相手とするのはいわゆる弱者です。この震災をきっかけに私たちの社会に対する責任が一層大きくなったような気がしませんか。皆さんが持っている医学という専門知識を使い、身の回りのことから変えていきませんか。少なくとも僕は、一年後社会に対する責任を自覚した医師になりたい。

偉そうなことを書きました。すみません。それと、お母さん、僕は真面目な文章だってちゃんと書けるようになったんだよ。

ポリクリが始まって

黒崎滋之（5年次）

同窓会員のみなさま、いかがお過ごしでしょうか。五年次の黒崎滋之です。

今年4月30日から始まった沖縄の梅雨も、先日6月9日に観測史上最も早く明け、沖縄の暑い、熱い夏が始まりました。南に位置する沖縄の日差しは強く、紫外線も他都道府県と比べて多いため、紫外線対策にも気をつけたいところですが、日焼け止めクリームと汗の混ざり具合の苦手な私はついつい日焼け止め対策を怠ってしまい、週末を迎えるたびに肌が黒くなっていきます。沖縄の日差し、侮るべからず。

この4月から5年次はポリクリ実習が始まりました。今までの座学とは異なり、患者さんを目の前にしての実習は、毎日が不安の連続です。「理解している」と感じていたことが、実は「理解しているつもり」だけであったということが少なくありません。本来であれば、講義や教科書などから得てきた知識を総動員しながら実習に望みたいところです。しかし、実際は患者さんの症状などから学ぶことが多く、典型的な症状や身体所見を目にした時ほど印象に残るものはありません。「百聞は一見にしかず」ということわざがありますが、まさにその通りです。五感を使いながら、実習をしていきたく思います。

一方で、医学に関する実習という側面だけでなく、コミュニケーション能力を養うことも、ポリクリ実習の隠された課題であると感じています。医師－患者関係だけでなく、医療従事者同士の関係も医療現場では重要だからです。これらコミュニケーション能力を養うためにも、先生方をはじめとした医療スタッフの方々とコミュニケーションをとるよう努力しているところです。

さて、ポリクリとは別のことについて少しだけ触れていこうと思います。生活環境や社会経済が一変した、今年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震とそれに伴った東日本大震災の影響についてです。

地震発生時、私自身はロサンゼルスにいたため、リアルタイムで地震とその後の津波の被害について知ることはできず、アパートでルームシェアしていたルームメイトと互いの国のおかしな風習について話しながらネットで確認していたところ、目に入ってきた日本人の地震関連のショートブログを通して知りました。その内容から「いつもとは様子が違う」と察知はしましたが、被害は想像をはるかに超えたものでした。ネットニュースは地震関連情報で埋め尽くされ、現地のテレビも、日本の地震と津波に関するものがほとんどでした。

翌日からは質問攻めの日々です。私が日本人とわかると、「日本は今どのような状況？」「家族や友人は大丈夫か？」「日本に帰るのか？」と現地の人に質問されました。はじめは、自分の知る限りの情報を彼ら／彼女らに伝えようと努力しました。しかし正直なところ、いくら情報ネットワークが発達したとはいえ、一時的であったとしても海外にいると日本の状況を100％把握することはできません。それに、自分に何ができるだろうかと考えるたびに何もできない無力さに打ちひしがれていたため、質問されるたびにうんざりしていたのも事実で